

## 嗅覚・味覚障害と新型コロナウイルス感染症について —耳鼻咽喉科からのお知らせとお願い—

新型コロナウイルス感染症は発熱やせき、たん、のどの痛み、体のだるさが主な症状ですが、嗅覚（におい）や味覚（あじ）も低下することがわかり、新聞やニュースで報道されています。本院では医学的観点から当面の間、下記の対応とさせていただきます。なお、下記につきましては厚労省、保健所、日本耳鼻咽喉科学会等の指針により適宜変更させていただきます。ご理解のほどよろしくお願ひします。

1. 嗅覚・味覚障害に加えて37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合や、咳、息苦しさ、だるさがあれば、お住まいの市町村の帰国者・接触者相談センターや保健所等にご相談ください。
2. 急な嗅覚・味覚障害を感じるようになった場合には、万が一、新型コロナウイルス感染症であったときに周囲の人に感染を拡大する可能性がありますので、2週間はできるだけ不要不急の外出を控えてください。その間、医療機関への受診は控え、体温を毎日測定し、手洗いをこまめにしてください。人と接する際にはマスクをつけて対話をしてください。
3. 嗅覚・味覚障害の治療は急ぐ必要はありません。自然に治ることも多いのでしばらく様子を見てください。特効薬はありませんが、2週間たっても上記の症状なく嗅覚や味覚が改善しない場合は耳鼻咽喉科外来を受診してください。

### 【リンク】

☆日本耳鼻咽喉科学会 嗅覚・味覚障害と新型コロナウイルス感染症について  
—耳鼻咽喉科からのお知らせとお願い（2020/4/2 改訂、第2版）

<http://www.jibika.or.jp/citizens/covid19/index.html>

☆急性の嗅覚・味覚障害についてのお願い [詳細](#)

☆自宅療養時のポイント [詳細](#)